

**質問** 重労働化する学校現場の状況をどう捉えているのか認識を伺います。

**答弁** 令和2年度の月80時間を超える長時間勤務者の全職員に占める割合は、小中学校4.0%で前年度比1.5%の減、県立学校2.7%で前年度比1.2%の減となっております。ただやはり長時間勤務者の割合については、減少傾向が見られますが、長時間勤務者が一定数いるということについては課題だというふうに認識しております。

**質問** 学校現場での長時間労働がなかなか解決しない要因及びその対応策について伺います。

**答弁** まず県立学校における長時間勤務の主な要因でございますけれども、部活動指導が最も多く、次いで事務・報告書作成、授業準備というふうになっております。県教育委員会では、沖縄県教職員働き方改革推進プラン及び教職員の勤務実態調査結果等を基に、学校の実情に応じた行事や会議等の見直し、合理的でかつ効率的・効果的な部活動の推進、また部活動指導員やスクール・サポート・スタッフの配置等の取組を進めております。引き続き実効性のある取組を推進し、教職員の長時間勤務の縮減に努めていきたいというふうに考えております。

**質問** 学校でのPCR検査ですが、県では教職員の業務負担と感染リスクの面から、外部業者が保護者から直接検査キットを回収するとしていますが、現状では全体の7%しか回収できておらず、負担軽減につながっていません。学校PCR検査を続けるのであれば、外部業者の人員拡充を図るか、県が人員を学校に派遣するなど、教職員の負担軽減を図るべきです。見解を伺います。

**答弁** 県では、感染状況を踏まえまして、学校・保育PCR検査支援チームというものを立ち上げて、それを強化しております。第6波におきましては、学校等で第5波を大きく超える発生がありましたので、検査までに時間を要していた、あるいは外部業者による検体回収が追いつかないというような状況があって、学校現場に御負担をおかけしていたと思います。このたび検査枠を拡充しまして、また業務委託等についても強化しておりますので、順次全員検査が再開できるような体制で今組んでいるところでございます。

**質問** 台湾有事の初動段階で、宮古島や石垣島を含めた南西諸島に臨時的攻撃用軍事拠点を置く新たな日米共同作戦計画の原案が策定されたという報道がありました。実行されれば、南西諸島が攻撃対象になるのは必至で住民が戦闘に巻き込まれる可能性が高く、住民の安全を考慮しない計画だと批判されています。防衛省、自衛隊の中からも、住民を戦闘に巻き込むリスクが飛躍的に高まると懸念する声があるとのこと。さらに驚くのは、制服組幹部の、台湾をめぐる有事に巻き込まれることは避けられない、申し訳ないが住民を退避させる余力はないだろうというコメントです。先島の住民、沖縄県民が犠牲になっても仕方がないように受け止められ、許し難いコメントです。知事の見解を求めます。

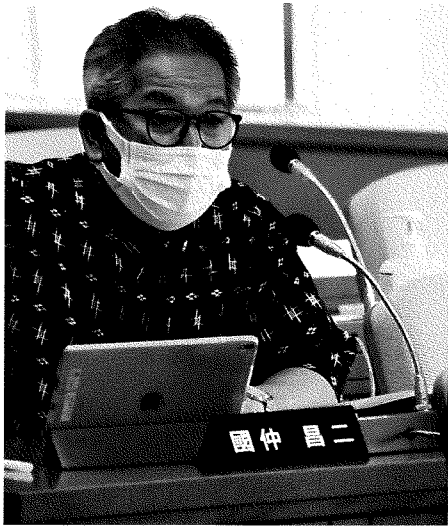
**答弁** 昨年12月に報道されました南西諸島への臨時的軍事拠点配置を含む日米の共同計画については、去る12月24日、知事が防衛省に対し、その詳細を明らかにするよう強く要請しております。その後、1月7日の2プラス2共同発表では、日米は、「同盟の役割・任務・能力の進化及び緊急事態に関する共同計画作業についての確固とした進展を歓迎した」旨が示されております。

県としては、日米共同訓練の激化等、これ以上の基地負担があってはならず、ましてや台湾有事等により沖縄が攻撃目標とされるような事態は決してあってはならないと考えており、引き続き情報収集を行った上で、適切に対応してまいりたいというふうに考えております。

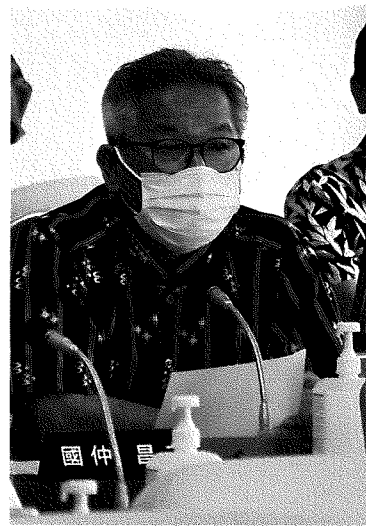
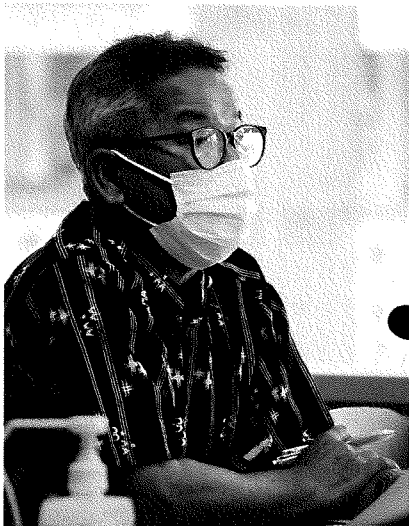
県民からは、私たちはまた戦争の矢面に立たされ犠牲者になるのではないかと、命が奪われることは絶対に避けるべきだ、いつも奄美や沖縄が犠牲になりつ放しだと怒りの声が上がっています。私たちは今、ロシアによるウクライナ侵攻の武力衝突により、子供たちを含む多くの市民が巻き込まれ、犠牲になっていく悲惨な状況をまざまざと見せつけられ、胸が張り裂ける思いです。やはりいかなる場合でも武力行使は絶対に避けるべきです。近年、台湾問題がクローズアップされていますが、日本政府には、2014年に中国と合意した、いわゆる日中4項目合意に基づき、中国との政治的相互信頼関係の構築に努めてもらいたいと強く求めます。

これで私の一般質問を終わります。 タンディガータンディ。ありがとうございました。

## ◆総務企画委員会



## ◆新沖縄振興・公共交通ネットワーク特別委員会



## ◆予算特別委員会



# ◆会派 立憲おきなわ活動



## 汚染水放出「承服せず」

### 米軍PFAS 県、日米に中止要請へ

米軍が普天間飛行場内から有機フッ素化合物（PFAS）を汚染水を基地外の公共下水施設へ放出する計画を立てている件で、謝花喜一郎副知事は16日、「県として承服できる話ではない」と許す考えを示した。

謝花副知事は、PFASの濃度を低減処理した汚染水のサンプリング調査の結果にかかわらず、汚染水を従来通り焼却処理するよう求める考えも示した。

下水処理施設でもPFASは除去されず、放出される汚染水の総量も不明だとして「基地内で処理されたい」としている。県民の不安は計り知れない。海や土壌に流れるという「新たな課題も出る」とした。米側が経費面を理由に下水放出に切り替える方針を示していることには、「一代

米軍が普天間飛行場内から有機フッ素化合物（PFAS）を汚染水を基地外の公共下水施設へ放出する計画を立てている件で、謝花喜一郎副知事は16日、「県として承服できる話ではない」と許す考えを示した。

謝花副知事は、PFASの濃度を低減処理した汚染水のサンプリング調査の結果にかかわらず、汚染水を従来通り焼却処理するよう求める考えも示した。

下水処理施設でもPFASは除去されず、放出される汚染水の総量も不明だとして「基地内で処理されたい」としている。県民の不安は計り知れない。海や土壌に流れるという「新たな課題も出る」とした。米側が経費面を理由に下水放出に切り替える方針を示していることには、「一代

2021.07/17(土)

## 観光安定へ基金検討

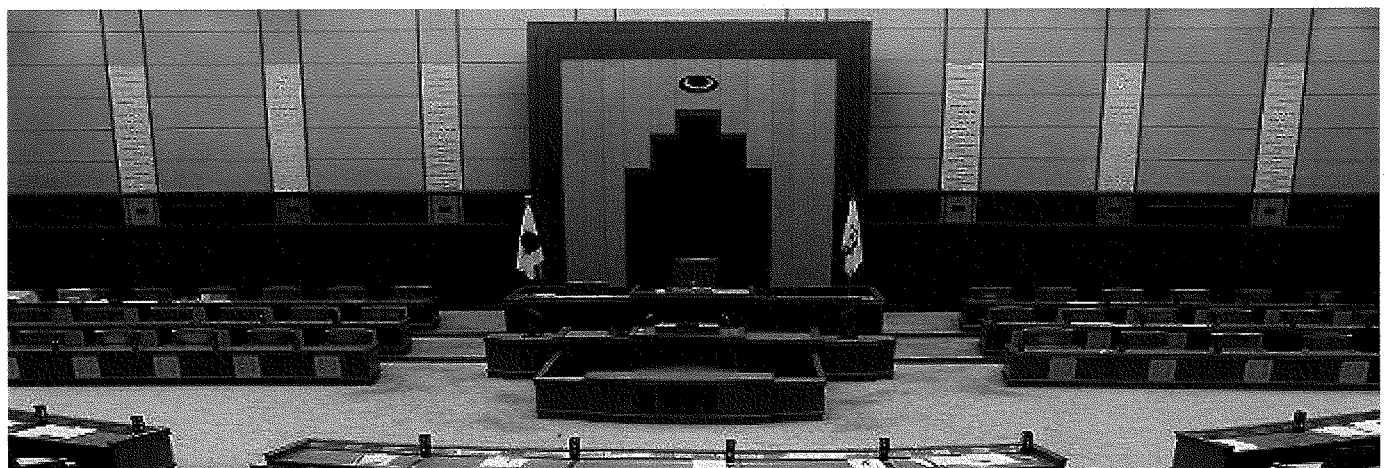
### 県、危機時の活用想定

玉城デニー知事は5日、観光産業の安定化を図る基金の創設に向けた検討を進めていると明らかにした。県庁で県議会会派「立憲おきなわ」の仲村未央代表（左から2人目）らと16日、県庁

議論した際、基金創設の案が上がった。同会派は、沖縄の日本復帰50年に合わせ、琉球政府の屋良朝苗主席（当時）が政府に示した「復帰指図」に関する建議書を作成することも要請した。玉城知事は「建議書になるか宣言になるかは内容次第だが、しっかりとメッセージを出す方向で準備している」と答えた。

県議団は「県農作物の種苗の生産に関する条例の早期実現も求めた。玉城知事は2月定例会に提案するべく、詰めの作業をしている」と述べた。（明真南斗）

2022.01/06(木)









國 仲 昌 二

Kuninaka Masaji

沖縄県議会 (会派 立憲おきなわ)

○ 総務企画委員会

○ 新沖縄振興・公共交通ネットワーク特別委員会

(沖縄県議会) 〒900-8501 沖縄県那覇市泉崎1-2-3

(会派室) 502号会議室 電話098-866-2432 fax 098-866-3011

(居 室) 504号室 電話098-866-2633

(宮古事務所) 〒906-0012 沖縄県宮古島市平良字西里667-5 ネクスコートいけむら105号室  
電話・fax 0980-72-7598 (携帯電話) 090-3075-8851 E-mail: youkiya\_masaji@yahoo.co.jp

## 経費区分別支出一覧表

経費区分

会議費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
7/16	旅費 宮古⇄那覇 航空賃(PFOS要請)	18,040	全額	18,040
8/4	旅費 宮古⇄那覇 航空賃(自民会派条例制定説明会)	18,040	全額	18,040
8/6	旅費 宮古⇄那覇 航空賃(沖縄振興策会派会議)	18,040	全額	18,040
8/10	旅費 宮古⇄那覇 航空賃(自民会派条例協議)	18,040	全額	18,040
1/5	旅費 宮古⇄那覇 航空賃(沖縄振興関係要請)	16,740	全額	16,740
1/12	旅費 宮古⇄那覇 航空賃(R4年度予算の意見交換会)	16,740	全額	16,740
2/3	旅費 宮古⇄那覇 航空賃(与党会派代表者議案説明会)	16,740	全額	16,740
6月	お水代 @1,080× 6本	6,480	1/4	1,620
7月	お水代 @1,080× 7本	7,560	1/4	1,890
8月	お水代 @1,080× 9本	9,720	1/4	2,430
6/29	コーヒー代	7,201	1/4	1,800
7/9	コーヒー代	4,320	1/4	1,080
7/30	コーヒー代	7,201	1/4	1,800
8/31	コーヒー代	7,920	1/4	1,980
6月	お茶代(6/2, 6/16)	854	1/4	213
6/18	紙コップ代	587	1/4	146
6/22	コーヒー代	440	1/4	110
6/25	コーヒー代	429	1/4	107
6/29	お茶等、飲物代	483	1/4	120
7/7	紙コップ代	739	1/4	184
7/8	コーヒー等、飲物代	814	1/4	203
7/13	お茶代	285	1/4	71
7/15	お茶代	267	1/4	66
7/26	紙コップ代	891	1/4	222
7/27	お茶代	208	1/4	52
7/27	お水代	475	1/4	118
7/28	コーヒー等、飲物代	331	1/4	82
8/3	お茶代	327	1/4	81
8/11	お茶代	365	1/4	91
8/13	お茶代	570	1/4	142
8/25	お茶代	972	1/4	243
8/27	お茶代	328	1/4	82
8/31	紙コップ代	739	1/4	184

## 経費区分別支出一覧表

経費区分

会議費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
9/1	πウォーター	1,830	1/4	457
9/2	お茶代	660	1/4	165
9月	お水代 @1,080× 6本	6,480	1/2	3,240
10月	お水代 @1,080× 4本	4,320	1/2	2,160
11月	お水代 @1,080× 3本	3,240	1/2	1,620
12月	お水代 @1,080× 6本	6,480	1/2	3,240
1月	お水代 @1,080× 2本	2,160	1/2	1,080
2月	お水代 @1,080× 6本	6,480	1/2	3,240
3月	お水代 @1,080× 3本	3,240	1/2	1,620
9/24	コーヒー代	3,960	1/2	1,980
10/21	コーヒー代	3,960	1/2	1,980
11/25	コーヒー代	4,320	1/2	2,160
12/2	コーヒー代	4,320	1/2	2,160
1/7	コーヒー代	3,960	1/2	1,980
3/18	コーヒー代	4,320	1/2	2,160
12/31	πウォーター	1,695	1/2	847
1/24	πウォーター	4,200	1/2	2,100
2/25	πウォーター	2,040	1/2	1,020
1/12	コーヒー代	5,500	1/2	2,750
2/1	コーヒー代	5,500	1/2	2,750
2/17	お茶代	2,020	1/2	1,010
9月	コーヒー等、飲物代	774	1/2	387
9月	コーヒー等、飲物代	619	1/2	309
9月	お茶代	1,311	1/2	655
10/21	お茶代	267	1/2	133
9月	お茶代	1,900	1/2	950
10月	お茶代	1,212	1/2	606
11月	コーヒー等、飲物代	2,019	1/2	1,009
11月	コーヒー等、飲物代	1,158	1/2	579
11月	コーヒー等、飲物代	556	1/2	278
12月	コーヒー等、飲物代	1,133	1/2	566
12月	お茶代	901	1/2	450
12月	コーヒー等、飲物代	2,124	1/2	1,062

統一様式-①



# 経費区分別支出一覧表

経費区分

会議費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
1月	コーヒ一等、飲物代	922	1/2	461
2月	コーヒ一等、飲物代	380	1/2	190
3月	お茶、紙コップ代	592	1/2	296
A. 小計				185,147
B. 支払証明書計				
会議費 充当合計				185,147



  **領収書**  
RECEIPT

1003915428

下記の金額正に領収致しました。  
RECEIVED FROM **國 仲 昌 二 様**

THE SUM OF **¥18,040** (税込)  
(TAX INCLD.)

但し運賃・料金として  
IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT

航空券番号  
TICKET NUMBER **1312414930247**

関連航空券番号  
OTHERS **\*\*\*\*\***

発券日  
DATE OF ISSUE **2021年07月15日**

備考  
REMARKS **クレジット(JL) ¥18,040**

発行：日本航空株式会社 OKAP 2021年07月16日

印紙税申告納  
付に付き品川  
税務署承認済

2021年7月16日 【米海兵隊による普天間飛行場からのPFOS汚染放出計画に関する要請】

充当割合：10/10  
充当額：18,040円 ✓

政務活動のため全額充当

## 会議活動記録簿

日 時	令和3年7月16日(金) 11時45分 ~ 12時
場 所	副知事室
対 象	謝花副知事
参 加 者	(参加者) 仲村未央、喜友名智子、崎山嗣幸、國仲昌二
目 的	要請
内容及び所見	(内容) 米海兵隊による普天間飛行場からのPFOS汚染水放出計画に関する 要請 (要請内容は別添資料)
備 考	

2021年7月16日

沖縄県知事 玉城デニー 様

沖縄県議会会派立憲おきなわ代表 仲村 未央  
立憲民主党沖縄県議団団長 喜友名 智



米海兵隊による普天間飛行場からのPFOS汚染水放出計画に関する要請

7月7日報道で明らかとなった、米軍普天間飛行場からのPFOS汚染水の放出計画について、米海兵隊は同13日、沖縄県、宜野湾市、沖縄防衛局を招いて計画の概要を説明した。県当局によると、米軍は従来の焼却処分による適正処理については、経費面等から困難との考えを示し、処理水の放出について理解を求めたという。

米軍の計画によれば、処理された汚染水は、一般の下水道から県の最終処分場に向かうが、最終処分場の通常の汚水処理では有機フッ素化合物は低減されない。最終的にはそのまま海に流れることになり、有害物質の蓄積等、周辺への悪影響も懸念される。

2020年4月の同施設からの泡消火剤の流出、本年6月のうるま市陸軍貯油施設からの流出など相次ぐ事故の発生、通報遅れ、事後のずさんな対応等、米軍の有害物質の管理に対する県民の不信と不安は尽きない。また、5年前に発覚した嘉手納基地周辺河川のPFOS汚染についても、米軍は原因究明にまったく非協力であり、県企業局の立入調査を拒否し続けている。

米軍の財政事情を優先し、県民の命に関わる問題を後ろにするような提案は断じて受入れ難い。会派立憲おきなわ並びに立憲民主党沖縄県議団は、PFOS等を含む汚染水の適正処理に関し、以下、要請する。

記

- 一、 米軍及び日本政府に対し、普天間飛行場に保管された PFOS 等を含む汚染水の適正処理を求め、下水道放出計画については中止させること
- 二、 PFOS 等を保有する在沖施設の特定、量や管理状況を公表するよう日米両政府に求めること。早急な撤去に向けた処理計画を策定し公表させること
- 三、 米軍内の財政事情等を理由に、管理や適正処理を怠ることがないように事故再発防止の徹底を日米両政府に求めること。台風襲来等で誤って流出させることがないように米軍の責任において管理を徹底させること

以上





WEB 67c4ccc7ac24a51e4b06464513647e84  
2021年08月10日 16:07

領収書  
RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIVED FROM : 國仲昌二様

金額

THE SUM OF : ￥ 9,020 円 (税込み)

但し	IN PAYMENT OF	運賃として AIR FARE-FREIGHT
航空券番号	TICKET NUMBER	1312415944411
航空券発行日	DATE OF ISSUE	2021年08月03日
発行所	PLACE OF ISSUE	日本航空
備考	REMARKS	現金・クレジットカード・其他のお支払い分を含みます

日本航空株式会社  
Japan Airlines Co., Ltd.

ご利用区間・運賃明細

お客様	搭乗日	出発地	到着地	便名	利用運賃	金額
KUNINAKA MASAJI 様	2021年8月3日(火)	宮古	沖縄(那覇)	JTA566	離島割引(普通席)	¥9,020

合計金額	¥9,020
------	--------

2021年8月4日 【自民会派による条例制定説明会】

充当割合 : 10/10

充当額 : 9,020 円 (往復 : 18,040 円)

政務活動のため全額充当



WEB fa22bea5da3cc238eb60768b0a3a5b5d  
2021年08月10日 16:08

領収書  
RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIVED FROM : 國仲昌二様

金額

THE SUM OF : ￥ 9,020 円 (税込み)

但し	IN PAYMENT OF	運賃として AIR FARE-FREIGHT
航空券番号	TICKET NUMBER	1312415992596
航空券発行日	DATE OF ISSUE	2021年08月04日
発行所	PLACE OF ISSUE	日本航空
備考	REMARKS	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

日本航空株式会社  
Japan Airlines Co., Ltd.

ご利用区間・運賃明細

お客様	搭乗日	出発地	到着地	便名	利用運賃	金額
KUNINAKA MASAJI 様	2021年8月4日(水)	沖縄(那覇)	宮古	JTA571	離島割引(普通席)	¥9,020

合計金額	¥9,020
------	--------

2021年8月4日 【自民会派による条例制定説明会】

充当割合 : 10/10

充当額 : 9,020 円 (往復 : 18,040 円)

政務活動のため全額充当

会議活動記録簿

日 時	令和3年8月4日(水) 14時 ~ 15時00分
場 所	沖縄県議会3階301会議室
対 象	「自民会派」、「立憲おきなわ」、「南風」
参 加 者	《参加者》 (自民会派)西銘啓史郎、座波一、大浜一郎 (立憲おきなわ)仲村未央、崎山嗣幸、國仲昌二、喜友名智子 (南風)次呂久成崇、翁長雄治
目 的	自民会派による条例制定説明会
内容及び所見	自民会派による「新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光産業の再興に関する条例(案)」についての説明及び意見交換
備 考	